

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	植物自家不和合性の分子機構と進化
研究代表者	高山 誠司（奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、植物の自家不和合性の分子機構において数々の先駆的業績を上げ、国際的にも極めて高い評価を受けている。本研究では、これまでの研究成果を踏まえて自家不和合性の未解決課題を整理・抽出し、それらの課題解決のためにタンパク質構造化学的解析、情報伝達経路の解明、進化学的アプローチを展開するものである。研究の焦点はよく絞られており、研究計画及びその遂行能力も申し分ないものと判断でき、大きな研究成果が期待できる。以上のことから、本研究は当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究となり得るものであり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>